

入学式（学校長のことば）

令和2年4月6日（月）

校庭の桜の花も満開を迎え、さわやかな春の日となりました。

116名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本日から北中学校の生徒として、第一歩を踏み出しました。入学された新入生の皆さんに対して心からお祝いを申し上げますとともに、皆さんをここまで立派に育てられた保護者の皆さまとともに、入学の喜びを分かち合いたいと思います。

真新しい制服に身を包んだ皆さんは、これからの中学校生活にちょっぴりの不安と、胸いっぱい期待をもって、この入学式に臨んでいることと思います。「勉強が少し専門的になる。」「教科ごとに教える先生が違う。」「部活動がある。」など、小学校の先生から聞いていると思います。そういう違いはありますが、小学校を卒業する時と大きく違うところは、中学校で義務教育が終わるということです。中学校を卒業すると、そこから先の進路は自分で決めるようになるということです。そういう意味で、今日から始まる3年間の中学校生活は、「自分探し」の時期と言えます。

そんな大事な中学校生活を迎えるにあたり、2つ大切なこととお話しておきたいと思います。

ひとつ目は、「自分を大切にすること、そして周りの人も自分と同じぐらいに大切にすること」です。「自分を大切にすること」とは、自分をそまつにしないこと、自分を少しでも高めるように努力することです。そして、周りの人も大切に、お互いの違いを認め合いながら、お互いが高まり合いながら、みなさん116名が、そして全校生徒が、かけがえのない仲間として強くつながってほしいと思います。

2つ目は、「自分なりの目標を掲げ、その目標に一步でも近づくように努力してほしい」ということです。勉強においても部活動においても、どんなことにおいても、自分なりに目標を掲げ、その目標に向けて一步でも近づくように努力をしてほしいと思います。大きなことはすぐにはできませんが、日々の小さな努力、積み重ねが、3年間で大きな成果となり花を開きます。

この2つのことを心において、自分の良さを思いっきり発揮し、仲間とともに充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。立派に成長された姿を目の当たりにされ、さぞ感無量のこととご拝察いたします。本日は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、規模を縮小しての入学式となりましたが、今後もお子様の安心・安全を最優先に、全教職員がチーム一丸となり、努力してまいりたいと考えています。本校教育に更なるご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、新入生のみなさんの今後の活躍をご期待申し上げ、学校長のことばとさせていただきます。新入生のみなさん、本日は誠におめでとうございます。